

職員を対象に実施している「あいサポート研修」について、研修メニューや研修の実施方法、各所属の取組例などをご紹介します。

所属の全職員を対象とした研修や新規採用者・局間異動者を対象とした研修、人権研修等にご活用いただくなど、「あいサポート研修」の開催について、ぜひご検討ください。

研修メニュー

★ あいサポート運動についての説明 ★

「あいサポート運動」の趣旨について、説明します。



★ 障がいについて理解するための動画視聴 ★

多様な障がいの特性と必要な配慮についてまとめた動画を視聴します。

当事者の声を含めて作成されており、実際に必要となる配慮等がわかりやすい動画となっています。（視聴いただく動画は、「あいサポート運動」を創設した鳥取県が作成した動画です。）

★ あいサポート運動ハンドブックの説明 ★

・ 障がいのある人への配慮

「暮らしのなかでできること」や「コミュニケーションにおいてできること」について、場面別に具体例を挙げて説明します。

・ 障がいのある人に関わるしるし

様々なマーク（例えば、ヘルプマーク等）の意味等をイラストとともに説明します。

・ 障がいを理由とする差別の解消に向けて

「不当な差別的取扱い」と「合理的配慮の提供」について、具体例を挙げて説明します。

★ 大阪市の主な取組 ★

「障がい者週間」や「大阪市こころを結ぶ手話言語条例」等、大阪市の主な取組について紹介します。

★ あいさつなどの簡単な手話講座 ★

「こんにちは」や「ありがとう」などの手話を、講師の真似をしながら学びます。

研修の実施方法

★ 所要時間 ★

約75分（アンケートの回答を含む）

★ 実施回数 ★

1日3回まで実施可能（午前に1回、午後に2回、）

★ 受講人数の制限 ★

特になし ※実績（1回あたり）：最少9名、最多77名

★ 昨年度の研修実績 ★

6部署で実施（延べ329名が受講）
平均理解度：約99%、平均満足度：約97%



各所属の取組例

★ 実施例 ★

- 「人権研修」として実施
- 研修テーマの中の1コマとして実施
- 複数年かけて、所属の全職員に受講をしてもらう計画を立てて実施

★ 主な対象者 ★

所属により受講対象者は異なりますが、これまでの実績は次のとおりです。

- 全職員（会計年度任用職員、再任用職員、臨時的任用職員を含む）
各課より選出し、受講しているケースが多い
- 新規採用者、局間転入者
- 障がいのある人に関わる機会が多い職員

受講者の声（アンケートより抜粋）

- ◆ 「あいサポート運動」を職員研修として広めるのは良い手法だと思う。
- ◆ 今後、区役所全体での研修を希望。
- ◆ 障がい者への理解促進は区役所の全ての職場で必要なスキル。今後も継続して取り組んでほしい。
- ◆ 全職員を対象にやるべきだと思った。
このような研修は有意義に感じたので、これからも継続をお願いしたい。
- ◆ 障がいの種類や特徴などは、なかなか詳しく知る機会もないので、良かったと思う。
- ◆ 障がいが身近に感じる研修だった。
外見では気づかない障がいも多く、細やかな観察、配慮が必要なことを感じた。
- ◆ 生活している中で、自分が特に何も思わないようなことが、障がいがある方にとっては不便であるといった視点を持つことができ、自分の視野が広がったと思った。
- ◆ 様々な障がいの種類について事例も含め、具体的に学ぶことができた。
健常者にはあたり前で気づけていないことが、こんなにもあるということに気付ける機会となった。
- ◆ 動画を通じて、障がいのある方ご本人のお話を聞くことができ、どのようなことに困っているかなどもよくわかり、配慮の方法もわかりやすかった。
- ◆ 日常生活の中でできる障がいのある人への配慮は大変参考になった。
同じ障がいでも一人ひとりでニーズは違うと思うので、必要な配慮を一緒に話し合うことが大切だと感じた。
- ◆ 様々な障がいに対して困っていることや配慮が違うということが明確にわかり、ちょっとした気配りと声かけで適切な手助けができるように心がけたいと思った。
どんな手助けが必要なのか具体的に示されていて、よく理解できた。
- ◆ 目に見える部分だけではない障がいが多くあることを改めて知った。
様々な状況の方がいることを理解し、手助けが必要な方を見かけたら勇気をもって声をかけたいと思った。
- ◆ 実際によく使いそうな手話をやってみたのが良かった。
- ◆ 手話講座は普段あまり触れることのない内容であったため、貴重な経験になった。

